



4 月月例会報告

親のひきこもり大学

4月23日(日) 13:30~16:30

今回の月例会はいわゆる新年度の始まりということでしょうか、いつもよりおいでになった方が多かった様です。加えて報道の方、研究学生さん、支援者さんらも加え、これも年度初めの事でしょうか会場がいつもの半分しか確保できず狭い空間に用意した席が足りないほどの盛況でした。そんな中で今回も専門家の方による講演はなしで、表題にあります「親のひきこもり大学」と銘打ち、(S.H)さん、(H.F)さん、(H.K)さん、(K.K)さん、篠原博子さんの5名の方により、「親として反省すること」「ピアサポートの必要性」「不登校の子供と交流して感じたこと」「自分自身の振り返り」「常識の見直し」というテーマを掲げそれぞれの学科を講義されました。マイクも使用できなくて非常に悪い条件でした。にもかかわらず、講師の心のこもったお話に、同じ境遇に苦しむ親同士、講師も感極まったり、聞く方も身につまされて涙ぐむなど熱気あふれる月例会になりました。聴講された方はそれぞれ、思い、生き方、子供への対処の方法等々すべてでないにしても大きく得られるものがあり、充実した経験をされたことと思います。



それらをふまえ、その後グループトークへ移りそれぞれのテーブルを囲みそれぞれの立場の悩み苦しみを吐露し、補い合い、勇気づけあいました。桃の会のテーマでもある【**出会う、つながる、分かち合う**】まさにそれを実践できた集まりだったと思います。こういった経験を多く積み、今後に向けて力強く踏み出そうではありませんか。

都合で出席されなかった方も、次回はぜひ一緒に、どうぞお待ちしております。(O)

＊ミニトーク＊

4月30日(日) 10:00~12:00

今回、14名の参加がありました。3つのグループに分かれ、それぞれ、テーマにそって話し合いました。最終にグループでの話をみんなで共有しました。「親が変われば、子ども変わる」という言葉が2つのグループから出ました。

話し合うテーマは違って話し合う内容は同じになりました。親が変わるということは、どういうことで、どうすれば変われるのかということでした。

親は自分自身では、気が付かないけど、以前より変わってきているんだと思いました。

「ひきこもりの子供本人がいちばん苦しいんだ」という事に気付いてきました。

いろいろな人の話を聞き、勉強して、又、話を聞いてもらって、ひとり、ひとり、気付きを得て、変わって来ているんだと思います。(H)



◆お願い 桃の会員の皆様へ 4月より新年度の年会費を集めております。自助会である桃の会は皆様のお力添えがないと立ち行きません。4月から来年3月まで一家族3,000円です。年会費を収められた方は、月例会の参加がなくても会報を郵送いたします。よろしくお願いたします。 運営委員一同

KHJ 全国ひきこもり家族会連合会 山梨支部



山梨県 桃の会 会報第32号

出会う、つながる、わかちあう 2017年5月発行

お問い合わせ
TEL/FAX/☎
0554-66-4073
090-6190-8677
篠原 博子

緑が映える新緑の季節となりました。さわやかな5月です。身体も心も自然のサイクルのようにリフレッシュしたいものです。桃の会がさわやかな新風を吹き込む、ちょっとしたお手伝いができればと思います。



5月 月例会 ひきこもりフューチャーセッション(対話&発表の時間)

“ひきこもりを違った角度から見る午後”

【講師】岡田さなさんの講演

プロフィール：2014年より、ひきこもりフューチャーセッション IORI~庵~運営メンバー兼ファシリテーターとして関わる。2015年のKHJ全国ひきこもり大学キャラバンに IORI がお手伝いしたことから、KHJ本部事務局にて、ファシリテーションと呼ばれる、対話の場や打ち合わせの場づくりを主に担当する。2016年はひきこもり大学の運営協力を各支部に行った。今年はKHJ全国大会、赤い羽根福祉基金によるひきこもりつながる・考える対話交流会を担当。その他に、2015年夏より、一般社団法人就労支援協会コンフィデンス日本橋にて職業支援員、就労支援員も担当。

〈日時〉 5月20日(土) 13:30~16:30

〈場所〉 福祉プラザ 4F 会議室

〈参加費〉 1家族 1,000円(当事者は無料)

〈内容〉 ひきこもりと出会うきっかけ、今も関わってる理由、関わって感じたり思ったことや、今までに会ったひきこもり達についてお話しします。共に「ひきこもりが当たり前が社会はどんな社会？」みんなの常識や囚われを外す試みをします。



《当事者スペース》

〈日時〉 5月20日(土) 13:30~16:30 パソコン室

《ミニグループトークの御案内》

〈日時〉 5月28日(日) 10:00~12:00 福祉プラザ4F 会議室



☆ピアサポート(個別家族支援)を行っています。

「つながり」は、家族の孤立を防ぎます。

まず第三者の風を！！



～今後の活動予定～

- | | | | |
|--------|----------|-------|-------------------------|
| H29年6月 | ● 10日(土) | 運営委員会 | 10:00~12:00 |
| | ● 10日(土) | 学習会 | 13:00~ |
| | ● 18日(日) | 月例会 | 13:30~16:30(ひきこもり大学&対話) |
| | ● 24日(土) | ミニトーク | 10:00~12:00 |

※場所・日程が変更になることがあります。

●ピア Voice

私は20代の頃、今でいう引きこもりになりました(あの頃はぶらぶらしているブー太郎って言ってましたね)。そして、私の2人の子供たちは、中高時代に学校に行けなくなったり、行かなくなったりした時期がありました。

私自身が引きこもっていた時、私は親に迷惑をかけていると思っでは自分を責め、外に出られない自分を自分で責めていました。

社会の規範に合っていないという負い目、この年になって親にお小遣いをもらい、読みたい本を買うという申し訳なさ、とても苦しい日々でした。

そんな私を、両親は何も言はずに、見守り、待ってくれました、ただ、私を信じてくれていたのです。3年間引きこもり、私は社会に出て行きました。

自分の引きこもりの時も苦しいと思いましたが、子供たちが学校に行けないというのは、さらにきつく苦しいものでした。

今思うと、私は自分自身の引きこもり体験だけでは、自分を変えることが出来ませんでした。私は自分の問題性を見つめることを先送りにしたのです。

子供たちは、そんな私の問題性を、自分自身の苦しみをもって、容赦なく指摘してきました。私に「今のままではだめだ、変われ」と。

そして、私のエゴとか、既成概念とか、見事に破壊してくれたのです。そこまで追い込まないと私は変われなかったのです。

私が変わったら、子供たちはさっと自立していきました。私は今、自然体で、生きるのが楽になっています。

子供たちとの10年間は、私が身にまとっていた余計なものをそぎ落とし、本来の私に目覚める期間だったのです。

私は引きこもりの子供をもつ親御さんたちは、基本的には子供たちによって変わる柔軟性をもった人たちなのだと思います。子供たちはそんな親たちを、確かに選んで生まれてきています。

私は引きこもりの子供をもつ親御さんたちに、「ダイヤモンドの原石の子供たちを持ったのですよ」あるいは「ダイヤモンドを持ったのと同じなのですよ」と伝えたいと思います。

それほど価値のあるきらめきを持った子供たちで、親たちはそんな子供たちによって目覚める機会を与えられて、本当にラッキーだと思います。

往々にして繊細で感受性の鋭い引きこもりの子供たちは、これからの社会を生き心地良いものに変えていくきっかけとなる存在だと思います。

私達は、子供たちと一緒に、皆が助け合い、生かし合う、共生型社会を生み出していく最前線にいるのだと思います。(K.S)

☆県庁訪問に行ってきました！

新年度を迎え4月26日3人のメンバーと県庁の障害福祉課を訪問し引きこもり問題に対して更なる御理解と御協力を頂くべく次の3点をお願いしてまいりました。

- ① ピアサポート(個別家族支援)の 必要性和活動継続のための資金について
- ② 居場所の確保(当事者家族が気軽に出入りできる場所) 管理維持費の必要性
- ③ 行政や関係機関との連携

課長さん始め 3名の県の担当者の方々が 1時間にわたり積極的にお話をお聞き下さり 引きこもり問題を社会にアピールしながら補助金を得る方法などを紹介頂きました。

30代40代の若者が 社会参加できずにいる現実を 理解しようとしてくださる担当者の方々の思いは伝わってまいりました。(篠原)

✿当事者スペースの報告✿

2017年4月23日(日)

○時間 午後1時30分～4時30分

○場所 福祉プラザ1階パソコン室

○参加者・経験者(8人)

○支援者(1人) 中村さん(臨床心理士、元当事者)

○居場所の内容

- ・グルーブトーク(2グループに分かれて当事者から出たテーマに沿って意見を出し合う)
- ・フリートーク

○感じた事

・季節の変わり目ということで、元気な方もいる一方、元気がなくて少し時間が必要な方も見受けられました。

当事者は、周りからの言動を気にせずに、自分のペースで回復していけばいいと思いました。

居場所に出てくるだけでも大変なのに、皆さん出てきてすごいなあと思いました。

こうやって少しずつ自分自身の出来る範囲で物事を進めていって欲しいです。

(報告者 元当事者 田中)



【農園でギャザリングしよう!】

・市民農園 1区画 55㎡(約17坪)、1年間 6,000円

場所: 甲府市七沢町 友達、家族などで一緒に畑で過ごしませんか?

・ボランティア 主に果樹の畑に関わる作業

・みくさのみたから ストレスなどで凝り固まった心身を解放するワークです。

5月29日(木) 13:30~15:30 龍華院本堂(甲府市上曾根町4042)

・申し込み・問い合わせ . . 相良(さがら)農園 055-243-0261

〈すみれ会・5月の予定〉

月例会 ・5月13日(土) 13:30~

その後カラオケ太会

当事者会 ・5月14日(日) 13:30~

〈お問い合わせ〉

090-5416-8748(清水)

場所: すみれ会事務所